

予防保全によるライフサイクルコストの縮減効果(今後20年の推計)

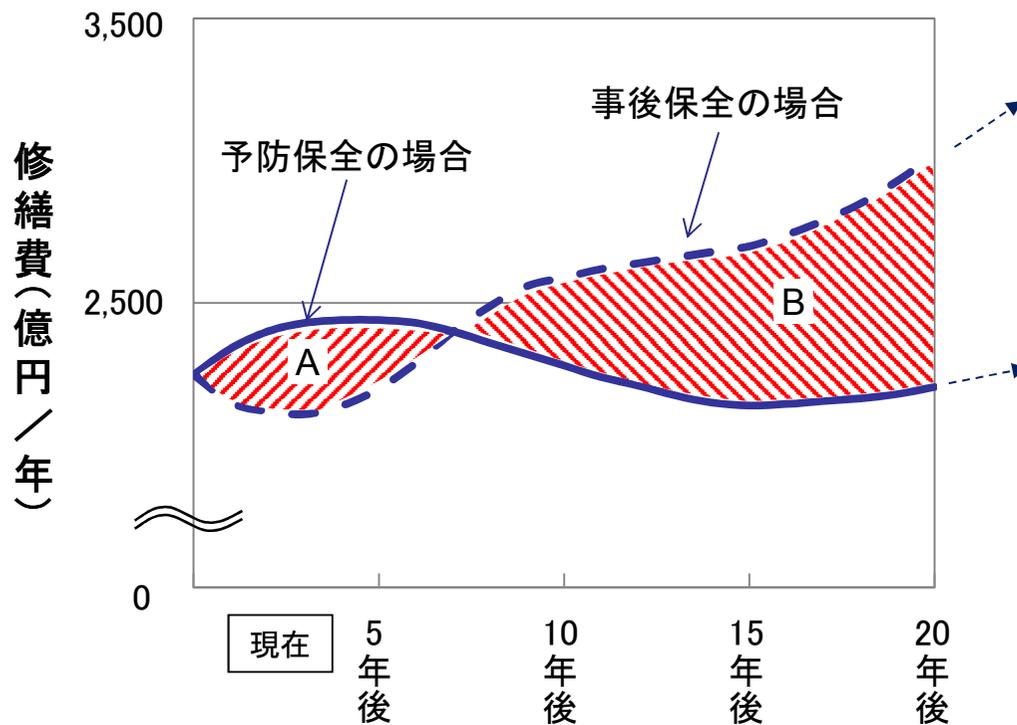
資料 3 - 1

- 点検結果、修繕実績等に基づき推計。
- 今後の点検実施状況も踏まえ、精査が必要。
- さらに、新技術の導入等により、コスト縮減の取り組みを進める。

予防保全の場合 約4.2~4.9兆円/20年 (年平均 約2,300億円) (2037年 約2,100~2,400億円)
 事後保全の場合 約4.7~5.5兆円/20年 (年平均 約2,500億円) (2037年 約2,800~3,300億円)

20年間で約5,000億円の縮減
 (参考:平成29年度 修繕当初予算 約2,250億円※)

※北海道、沖縄の事業分を含めた平成29年度当初予算額



- 対象道路
 : 国土交通省管理道路
- 対象構造物
 : 橋梁、トンネル、舗装、
 その他構造物(土工、附属物)
- 対象予算
 : 修繕、点検、耐震補強
- 対象年
 : 2017年~2037年(20年間)